

ヒバ混入畳床



写真下のヒバを混入した畳床ではカビの発生が少ない

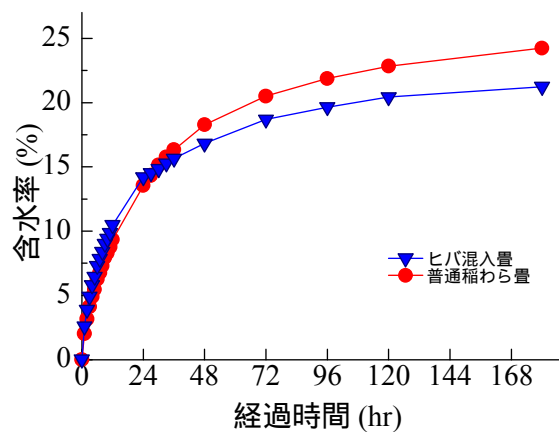


図 含水率の時間変化

特長

1. 廃材の有効利用が出来る
2. カビの発生が少ない
3. 吸湿性能も稲わら畳床より若干良い

2種類の廃棄物が使用可能



超仕上げカンナ屑



自動カンナ屑

この様な二つのカンナ屑が使用できます。
自動カンナ屑は、切りわらの代わりに使用できます。

自動カンナ屑の使用方法



切りわらすべてをカンナ屑に替えると、製畳機を痛めることとなりますのでご注意ください。自動カンナ屑は、適量を、古畳を切りわらにリサイクルするときに、配合することで、切りわらに含まれていた菌の繁殖を抑える効果が期待できます

製造方法

右図にヒバ混入畳床の断面構成図の一例を示します。
また、下の写真は製造風景です。



(表側)

上配(稲わら)
超仕上げカンナ屑
大手配(稲わら)
切りわら+自動カンナ屑
下配(稲わら)
超仕上げカンナ屑
裏面材(シート、こも等)

(裏表)

ヒバ混入畳床断面構成の1例

本研究に対する問い合わせ先
石川県林業試験場 木材加工科
石川ウッドセンター
TEL 0761-93-1873 FAX 0761-93-5234
E-mail iwc@pref.ishikawa.jp